

第164回 仏教公開講座

年間テーマ

生きるって ということ

サブテーマ (教区テーマ)

まなこ
『眼をひらく 』
こころ
心をひらく』

真宗大谷派岐阜教区・岐阜別院

日 時 2018年2月20日(火) 午後2時より

講 師 真城 義麿 (ましろ よしまろ) 氏 (四国教区善照寺)

講 題 仏法に眼が開かれる

講師紹介 1953年愛媛県生まれ。大谷大学大学院修士課程修了(仏教学専攻)。大谷中高等学校元校長。四国教区善照寺住職。真宗大谷学園専務理事

著 書 「あなたがあなたになる48章」「お誕生おめでとう 生まれてくれてありがとう」「安心してがんばれる世界を」「ぶっきょうのぶっー仏教はじめの一步ー」「成人したあなたへ」など。

先生からのメッセージ

「量的思考」「合理的説明」「評価と競争」「成果と効率」ばかりの世の中で、「無量」「不可思議」「無上尊」「存在安心」の世界があると知らされる。主張する前に「聞く」「交流する」。正解を求めるよりも「問う」「気づく」「考える」。「私に都合良く」というよりも「不都合を引き受けながらも安心して生きていける」。そんなことが共有できる輪が広がっていればいいですね。

MEMO

次回 第165回 仏教公開講座 ご案内

期 日	2018年3月20日(火) <u>午後6時半より</u>
講 師	高木 慶子(たかき よしこ)氏 (上智大学グリーンケア研究所特任所長)
講 題	眼をひらく、心をひらく
講師紹介	<p>熊本県生まれ。聖心女子大学文学部心理学科卒業。上智大学神学部修士課程修了。博士(宗教文化)。</p> <p>現在、上智大学グリーンケア研究所特任所長。「生と死を考える会全国協議会」会長。「兵庫・生と死を考える会」会長。一般社団法人グリーンケアパートナー理事。援助修道会会員。「日本スピリチュアルケア学会」理事長。</p> <p>兵庫県「県勢高揚功労」(2015年度)、「カトリック大学連盟 カトリック学術研究奨励賞」受賞、「神戸新聞 第63回平和賞」受賞、「財団法人兵庫地域政策研究所機構 第7回21世紀のまちづくり・研究部門賞」受賞、など。</p> <p>三十数年来、ターミナル(終末期)にある人々のスピリチュアルケア、及び悲嘆にある人々のグリーンケアに携わる。</p>
著 書	『「ありがとう」といって、死のう』 (幻冬舎) 『それでも 人は生かされている』 (PHP 研究所) 『悲しみの乗り越え方』(角川書店)
メッセージ	各自の心の中に、神仏が宿っておられることを、これまでの尊い先人たちが教え諭しておられます。その尊い神仏に、心の眼を向けて生活を送ることは、人生を豊かに生きるために最も大切な行いではないでしょうか。私たちは身体的な五感を持っているだけでなく、心の中の五感も持っていると考えます。その内的な感性で、神仏に眼を向けることで、人生の奥行きも違ってくるのではないのでしょうか。